

『定本坂口安吾全集』（冬樹社）未収録資料

花田, 俊典
九州大学大学院

<https://doi.org/10.15017/16318>

出版情報：文献探究. 1, pp.7-7, 1977-08-08. 文献探究の会
バージョン：
権利関係：



次頁料紹介

(花田)

『定本坂口安吾全集』(冬樹社)未収録資料

★

阪口安吾

一、只今信濃山中數百米の奈良原なる鑛泉にゐますが、今から二週間前、(一夏の仕事部屋をもとめて山中をさまよふうちに沛然たる山雨にあひ、逃げこんだのがこの鑛泉、人跡極めて稀れ、一日一圓といふ宿泊料にことごとく満足忽ち腰を落着けましたのが、ごく最近の喜びでせうか。

こゝ、當地に參つてより睡れども睡れども睡魔の襲ふところとなり、山岳を半眼に睨みおさめて夜となく晝となく惰眠をむさぼる有様我ながら豚と化したるにあらざるの悵然たる思ひ、ひそかに立腹を燃してをる次第です。

「嬉しかったこと・楽しかったこと・口惜しかったこと・癢に触ったこと」(※アンケート回答)

『文藝通信』第三卷第九号(昭10.9.1発行)